

平成26年度 学校自己評価システムシート (県立 小鹿野高等学校)

目指す学校像	豊かな創造性と思いやりのある人材を育成するために、地域に根ざした総合学科の高校として、学力と人間力が身についた生徒づくり、地域に愛され信頼される学校づくりを目指す。
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 総合学科の系列特性を生かし、教育内容を充実させる。 授業を工夫、改善し、基礎学力の定着、学力の向上を目指す。 心身ともに健康でボランティア精神に充ちた生徒を育成する。 生徒、職員ともに明るく元気に活動し、地域に愛される学校にする。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	7名

学 校 自 己 評 価				年度評価 (2月12日現在)			
年 度 目 標				年度評価			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	生徒の実態や社会変化を考慮し、現在の総合学科4系列について検討する必要がある。多様化する生徒に対して総合学科の特長を生かし、進路希望の実現に向けた指導方法を充実させることが必要である。	生徒の興味関心、希望に応じた指導と進路希望の実現	<ol style="list-style-type: none"> ①教育課程委員会を中心に、実態に合った系列や選択科目設置に向けた検討を進める。生徒の興味関心や進路希望に添った科目の選択指導をきめ細かく行う。 ②LHRや総学、産社でのガイダンス等を充実させる。放課後等を活用した個別指導や就労体験の充実や資格取得推奨などにより進路の意識向上を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学年、教科での説明会や面談、日頃の個別指導等で、系列や学習内容を理解させ選択させることができたか。事後アンケートを実施する。 ②進路関係の情報提供やガイダンス実施状況、生徒の感想。マンデーレッスンの実施状況や進路対策テスト結果。進路希望の実現状況。 	<p>①生徒の進路希望実現に向け、適切に科目選択させるための「系列・科目選択説明会」や随時個別相談による、きめ細かい指導を実施した。アンケートも授業満足度や授業工夫度で87%が満足という回答を得た。</p> <p>②全学年とも外部講師招へいなどにより内容の濃い進路指導を実施し、生徒から好評を得た。マンデーレッスンの参加者は減少したが、進路実現が確立し、県キャリア教育実践表彰では最優秀賞を受賞した。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・設置科目について、生徒の進路や興味関心に応じた科目・授業内容を委員会や教科で検討する。4系列の分析もさらに進め、系列の在り方について検討を続ける。 ・資格取得やマンデーレッスンについては、生徒の学習意欲を高めさせるために、実施方法や内容を見直すなどして引き続き推奨していく。インターンシップをはじめ、地域と連携した活動を継続させ進路意識を一層向上させる。
2	学業や高校生活への意欲や目標を持って入学している生徒がいる一方で、進んで学習に取り組む意欲や姿勢が乏しかったり、基礎学力が定着していない生徒が増加傾向にあり、学力幅が広がっている現状がある。個々の生徒状況に合わせた指導により、必要な学力を着実に身につけさせる学習指導の工夫が必要である。	授業の工夫・改善、基礎学力の定着と学力向上	<ol style="list-style-type: none"> ①全教職員の共通理解により、集中して授業に取り組む環境をつくる。 ②全校規模の漢字テスト、計算力テストの継続実施と授業以外の学習時間を増加させる。 ③1年次生に対する学び直し授業や少人数授業、TTによる指導により、学習意欲が高まり集中して授業を受けさせるようになったか、成績優良者増加と成績不振者減少。 	<ol style="list-style-type: none"> ①授業前のマナー指導徹底など、授業に集中させる指導ができたか。 ②漢字テストと計算力テストの実施状況や授業以外の学習時間や学習量が増えたか。 ③マナトレを利用した学び直し授業や少人数・習熟度授業、学習サポーター配置による授業の実施により、学習意欲が高まり集中して授業に臨めるようになったか、成績優良者が微増したが不振者は54%増え、欠点科目数も68%減少した。 	<p>①マナー指導等は全体的によく指導されていたが、落ち着かず集中できない授業が散見していた。</p> <p>②漢字テスト、計算力テストは全校規模で継続実施した。低得点者への再試や放課後補習などで学習環境を作り学習時間を確保させ指導した。</p> <p>③少人数など、きめ細かな授業指導により「わかる・楽しい」など勉強に自信を持つ生徒が増えつつある。成績優良者は微増したが不振者は54%増え、欠点科目数も68%減少した。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の共通理解により、授業等での共通指導を実践していく体制を強固にする。学年や教科を中心に学校全体で共通指導を実践する。全教職員が相互に授業見学や生徒観察をして、生徒を授業に集中させて学力の向上に向けて取り組む。 ・工夫した授業により、集中して授業を受けさせるとともに、放課後等の個々に応じた指導も継続させ基礎学力を身につけさせる。本年度から実施した1・2学期の追考査制度をさらに確立させる。
3	必要な社会常識や規律を知らないで入学してくる生徒が増えている。高校生活3年間を通して、社会人として必要な能力を身に付けさせたり、ボランティア活動や体験活動を通して、公共心、協調性、思いやりを育成する必要がある。	社会に通用する生徒の育成	<ol style="list-style-type: none"> ①全教職員で継続的に実施する登校指導、巡回指導、整容指導により、遅刻防止、頭髪・服装指導を徹底し、挨拶のできる有為な社会人の形成を図る。 ②あらゆる機会を通じて、時間を守ることの大切さを徹底指導する。 ③地域と積極的に交流を図り、思いやりの心を育む。 	<ol style="list-style-type: none"> ①遅刻数の減少、頭髪や服装などのきまりの遵守・改善の状況。積極的に挨拶する生徒の増加。生徒指導事件数の減少。 ②時間を守る行動ができたか。 ③地域清掃活動の実施や地域ボランティア活動等に自らの意志で積極的に参加できたか。 	<p>①遅刻数は25%減(一昨年度比54%減)と指導成果が上がっている。毎月の整容指導も1月の指導生徒は4名と激減し日頃の指導成果が出ている。生徒指導事件数も57%減少した。</p> <p>②集会等で、5分前行動が概ね出来ており時間への意識が高まった。</p> <p>③年3回の全校校外清掃実施、様々なボランティア活動への参加生徒も増加した。希望者20名で宮城県への被災地ボランティアも実施した。ボランティア部を中心に、全校生徒や地域を巻き込んだ3R活動で全国表彰を受けた。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導部を中心に、登校指導・巡回指導・整容指導・校外指導など定期的な実施している。このきめ細かい指導を、次年度も継続する。指導内容を生徒に確実に浸透させるために、日頃の挨拶やコミュニケーションを一層大切に、生徒に生きる力を身につけさせていく。 ・生徒を地域活動に積極的に参加させ、地域住民を学校に引き込むことで地域交流を進めていく。地域から高い評価を得ることで生徒に一層の自信をつけさせていく。
4	本校の特長や生徒の取り組み、活動などが地域住民から正しく理解されていない面がある。地域との連携活動を充実させ、地域唯一の県立高校として正しく理解され信頼を得ていくことが重要である。学校情報を積極的に発信し、地域に愛される学校づくりに取り組む必要がある。	地域連携の充実と活気ある学校づくり、積極的な学校PR	<ol style="list-style-type: none"> ①地域行事に生徒を積極的に参加させたり、地域住民を学校に招く取組を実施することで双方での地域連携を充実させる。 ②西秩父地域唯一の高校として地域の学校の核として組織的連携を密に行い、異世代間交流や学校間連携などに取り組み、地域の教育力を高める。 ③学校の取組や情報を様々な手段で発信し、学校PRを一層充実させ地域からの理解を得る。 	<ol style="list-style-type: none"> ①地域行事への参加回数や参加生徒数の増加。学校へ地域の方々に来校してもらえる取組の実施。連携行事内容の充実と実施回数増加。 ②地域の小・中学校や幼稚園などの連携活動内容の充実や実施回数の増加。 ③ホームページや報道機関、閲覧板等を利用した情報発信回数増加。生徒主体による情宣活動として商店街などへの学校情報紙等の掲示などができたか。 	<p>①地域間連行事は30行事を数え、回数・参加生徒数も増加し、外部団体等からの依頼も増えた。本校の連携活動が地域から認められている証である。文化祭や公開講座、体育施設開放での使用回数等も激増し連携は一層深まっている。</p> <p>②小・中学校・高校間、さらに幼稚園等との連携や組織体制も確立させて地域教育の核として取り組んだ。</p> <p>③HP更新頻度もアップし年間アクセス数も倍増の20万件を超える勢いで発信し、報道依頼や閲覧板利用、商店街への掲示も実施でき、情報発信を円滑に実践できている。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域から信頼を得るために、さらに工夫した取り組みを実践していく。一時期失った本校への信頼を回復するために、現在教職員が一丸となって必死に指導している。若手教員が増え、ベテラン教員とのコミュニケーションが校長のリーダーシップの下で、的確にフィットしてきている。地域の声を活かしながら積極的に地域に入り込み、本年度以上の評価を得ていくために取り組む。生徒募集にもつながるように、諸活動を充実させ地道にPR活動をしていく。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日 平成27年2月27日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> ・進学率をあげる取り組みをしてほしい。4年制大学を学力で目指す生徒を指導してほしい。マンデーレッスン等を頑張してほしい。 ・系列について、内容を理解している中学生が少ない。系列の特長を示していく必要がある。 ・最優秀賞の受賞は素晴らしい。全てが良くなってきていると感じる。学校の雰囲気もいい。生徒も自信をつけている。 ・学校が思い切った活動が出来るように、県へは学校の規制緩和ができるように働きかけたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習が極端に少ない。勉強しろと言うだけでなく、家庭と連携して具体的に個別指導や進捗状況を書かせるなど方向性を示す指導をしてほしい。生徒が家庭学習をやれば学校でも勉強する。生徒に主体性を持たせてやらせてほしい。 ・中学校でも家庭学習しないということは問題になっている。テレビゲーム、携帯電話等の時間が長く勉強しない、生徒会などで使い方の約束事を示す必要があるのではないかと感じている。 ・学力を高めるための取り組みとして、互いに授業を見合うことは素晴らしい。 ・追考査は良い取り組みである。直後に刺激を与えて学習させることは効果が高い。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導や授業など生徒を放っておくことなく、教職員が全員体制よく指導して非常に素晴らしい。今後も頑張してほしい。しかし、学校が面倒を見れば見るほど、生徒が頼りすぎる場面もあるのでバランスを見ながら指導してほしい。頼りすぎてしまうと自立心が育たない。 ・学年数で苦労して効果を上げてきている。生徒数が増える大変である。引き続き指導して効果をあげてほしい。 ・頭髪や服装指導で生徒が言うことを聞くようになっている。遅刻件数も減っている。指導を聞ける生徒、聞く耳を持つ生徒が増えている。次は、家庭学習をさせるための工夫をしてほしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・校長を中心に先生方が一体となって同じ方向を向いて頑張っており結果でいる。新聞報道等も素晴らしい。地道な活動が結果として現れ志願者増につながり、地域の人の理解につながっている。PR成果もあり目的を持って受検する生徒も増加している。うれしく思う。 ・以前は受かればいいというだけの生徒も多かったが、部活動や福祉など目的を持って受検している。 ・高校生が地域の小中学生に対して、学校まで向いて説明や指導などをしてきている。話し方がしっかりしているという印象である。細かい希望でも聞き入れてくれて取り組みや支援などの連携もしてもらっている。中学生の受検希望者が増加につながったことは、あたりまえの結果である。自信を持って外部にも出て活動してもらいたい。 	